

第 2 回山武市景観計画
策定委員会資料

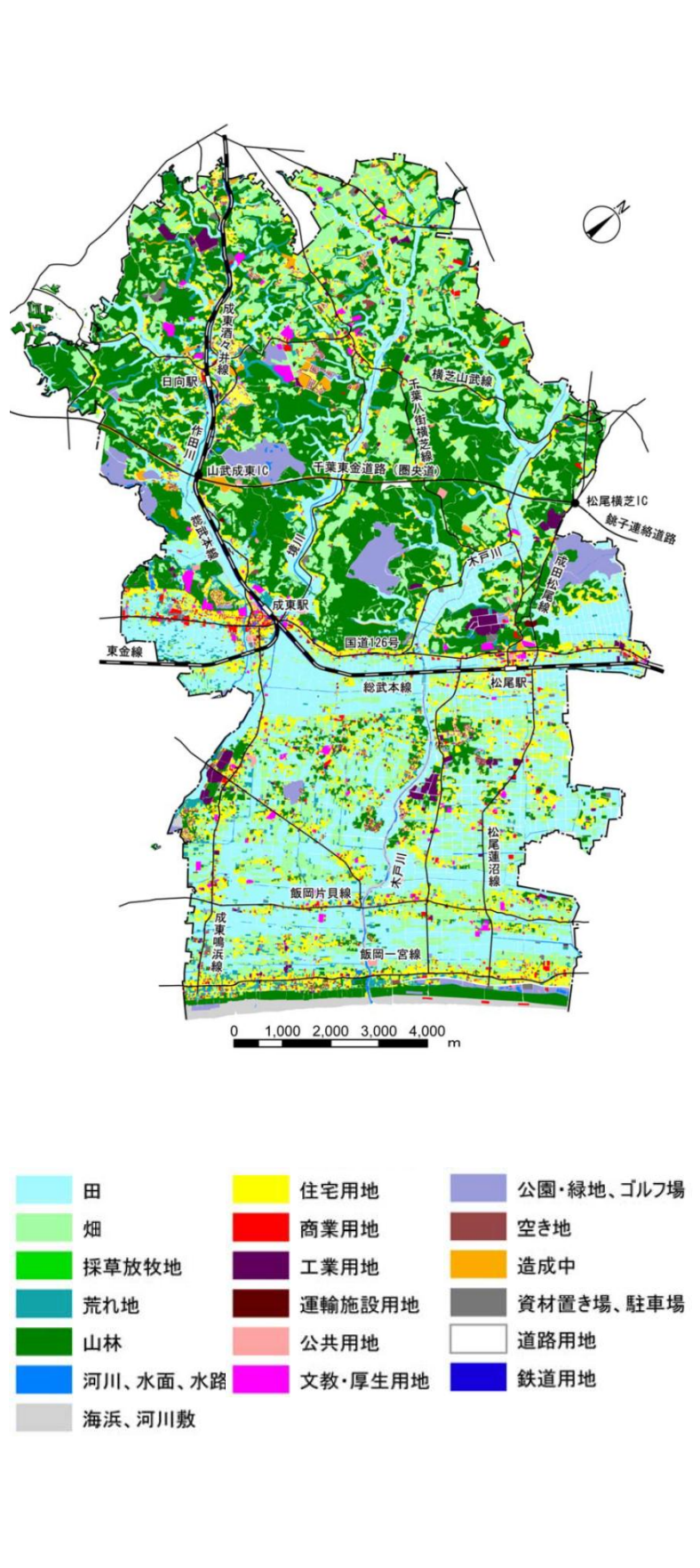
～ 目次 ～

1. 上位計画における土地利用特性……………	1
2. 山武市の景観分類について……………	2
3. 山武市の景観特性・課題の整理……………	3
4. 山武市の景観の目標・基本方針について……………	4

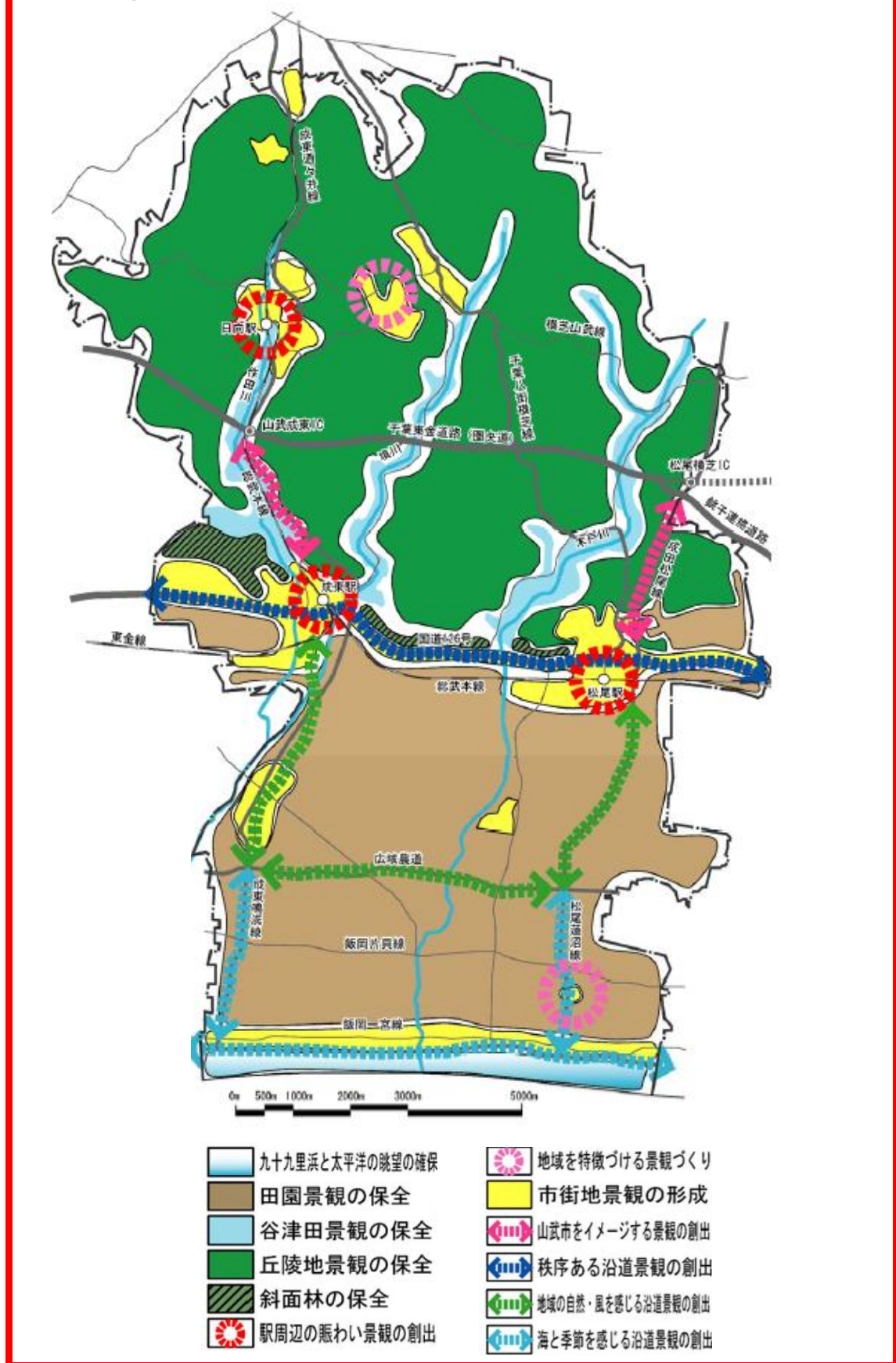
1. 上位計画における土地利用特性

山武市都市計画マスタープランにおける平成18年土地利用現況図（出典：千葉県都市計画基礎調査（平成18年度）及び平成20年3月策定の山武市総合計画の土地利用構想図を基に、平成22年3月策定の山武市都市計画マスタープランにおいて景観に関する方針図を定めており、今後、その景観に関する方針図をベースに景観に係る基本方針等を検討していくこととします。

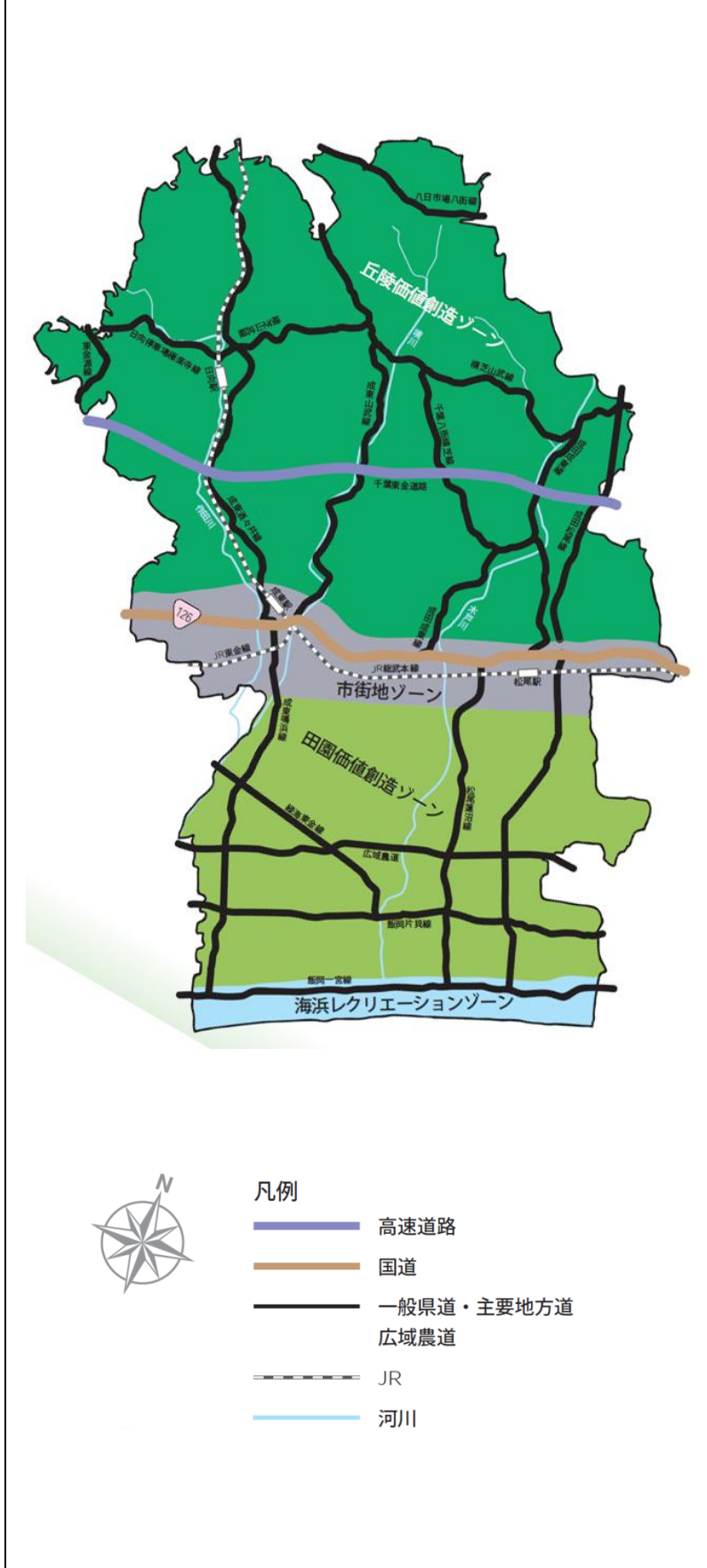
平成18年土地利用現況図(山武市都市計画マスタープラン)



景観に関する方針図（山武市都市計画マスタープラン）



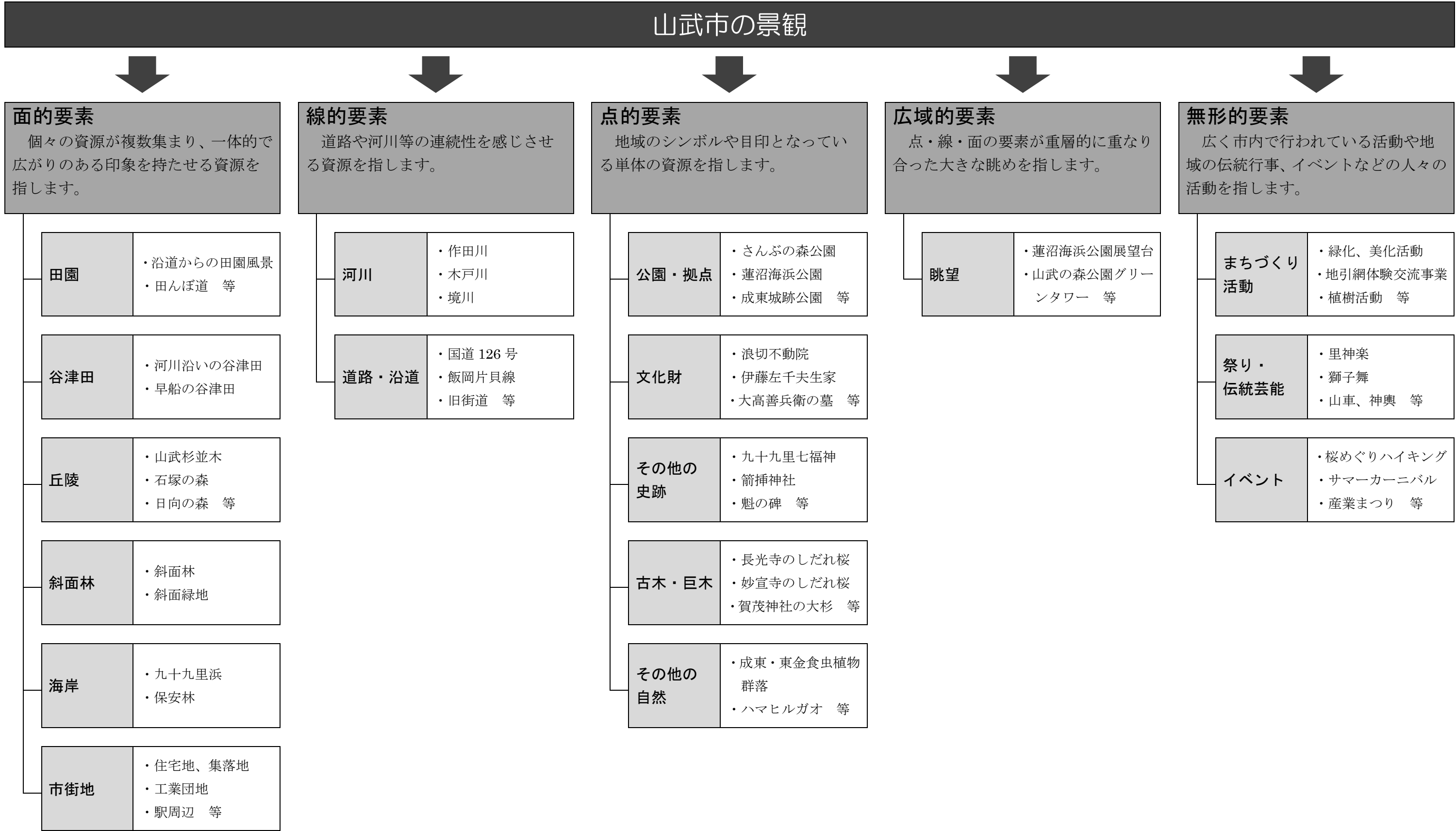
山武市土地利用構想図（山武市総合計画）



2. 山武市の景観分類について

成東町・山武町・蓮沼村・松尾町の4町村が合併して山武市が誕生し、1つの市になったことにより旧町村ごとではそれぞれ無かった景観が、白砂青松の九十九里海岸や山武杉の森をはじめ、多様な景観を有することとなりました。

山武市の景観を把握するために、山武都市計画マスタープランの景観に関する方針図、既存の各種文献、景観に関する基礎的調査、景観アンケート調査、景観ワイワイ広場、第1回景観計画策定委員会でのご意見等を踏まえて、**景観を構成する5つの要素（面的要素、線的要素、点的要素、広域的要素、無形的要素）**から、景観資源の特徴を整理しました。



3. 山武市の景観特性・課題の整理

以下では、前ページの景観分類に基づき、「山武市の景観特性・課題」として、景観ワイワイ広場（第1回～第3回）や景観アンケート調査、第1回策定委員会でのご意見を整理しています。

分類	景観特性		景観特性（まとめ）	分類	課 題
田園	・九十九里平野に広がる、農林業と共に育まれた広大な田園景観。	自然	山武市は、全国的な知名度を持ち、「渚百選」にも選定された九十九里浜の中心から、九十九里平野に広がる広大な田園、九十九里の漁業とも歴史的に関連し、「ちば文化的景観」に代表される山武杉のある丘陵までと多岐にわたる自然を有しており、山武市の景観の骨格を創っている。	田園	・耕作放棄地など手入れの行き届かない農地がみられる。 ・その結果、農地への不法投棄がみられる。 ・反面、圃場整備がされたことで、生き物がいなくなっている。
谷津田	・千葉県でも貴重となってきたホタルの見られる谷津田景観。			谷津田	・機械化になじまないことによる休耕田化や、後継者不足による谷津田景観の将来的な喪失。
丘陵	・九十九里浜の鯛漁で使う材木を確保するために江戸時代に始まったとされ、漁業と密接に関わる歴史を持ち、千葉県「ちば文化的景観」に選定された山武杉のある景観。 ・山武杉の美林の中を散策することができる山武杉の道（関東ふれあいの道） ・千葉県指定天然記念物である浪切不動院背後にはある石塚の森（高さ7～15mのスダジイ）。			丘陵	・手入れが行き届かず、山林が荒廃している。 ・林業採算性の悪化による山林の荒廃に対し、様々な施策がなされてきたが根本的な解決策が見つからず、山を諦める所まで追い込まれている。 ・日向の森など利用すべき山林が活用されていない。 ・極相林が多い。 ・杉林資源（山武杉）が活用されていない。
斜面林	・下総台地と九十九里平野の境目の崖に広がる帯状の斜面林。			斜面林	・山砂採取後のそのまま放置され土がむき出しになった斜面や人工的な法面・擁壁。
河川	・丘陵地から平野部を貫流して太平洋に流れる作田川とその支流である境川、木戸川とその水辺景観。 ・丘陵地から田園地帯まで広く分布しているため池（海面後退の名残）。			河川	・津波被災後の木戸川の未整備。作田川河川改修による現在の景観の喪失。 ・河川・水路へのゴミの不法投棄。
海岸	・全国的に知名度の高い九十九里浜と緑豊かな保安林の白砂青松の優れた自然景観。 ・日本の白砂青松100選・日本の渚百選			海岸	・松くい虫の被害と東日本大震災の津波の塩害による保安林の枯死。 ・観光客による九十九里海岸や松林へのゴミ捨て。ゴミが非常に多い。 ・砂浜の一部に砂利が敷かれることによる海岸環境の変化、自然への影響。
その他の自然	・ハマヒルガオの群生地や国指定天然記念物である成東・東金食虫植物群落、ジャーマンアイリス園、桜並木、あじさいロードなど			その他の自然	・貴重な植物群があり、広くPRすべきだが、一方で知名度を上げることによる環境への負荷が懸念される。 ・花の手入れが不足している箇所がある。
市街地	・庭先への花の植栽や生垣など手入れの行き届いた旧市街地。 ・屋敷林や長屋門、榎の生垣に囲まれた蔵や日本家屋が見られる森地区や植草地区等の集落地。 ・家屋を取り囲む榎の生垣や、屋敷林・社寺林等の緑が見られる田園地帯の集落。 ・建築協定により道路沿いの生垣化を図り、良好な住宅地の景観を作り出している美杉野地区などの住宅地。 ・緑化協定により公共施設の緑地率を上回る緑化が図られている松尾台工業団地など。	暮らしの場・まちなみ	地域の歴史に基づき形成された住宅地、計画的に形成され緑豊かな生垣に囲まれた住宅地、屋敷林などの緑の見られる集落や豊かな自然の景観を堪能しながら散策できる公園や観光・交流拠点など自然に調和したまちなみが見られる。	市街地	・地域の歴史に基づかない住宅の建替えがみられる。（生垣の喪失も含む） ・空き家、空き店舗、空き地が多く見られる。
道路・沿道	・ロードサイド型の商業施設の立地に加え、多くの観光いちご農園が見られる国道126号線の沿道景観（ストロベリーロード）。 ・緑豊かな生垣のある住宅地が多く見られる飯岡片貝線や旧街道沿いの沿道景観。 ・山武市へのアクセス拠点となる山武成東IC・松尾横芝ICと、市街地へのアクセス道路となる成東酒々井線・成田松尾線の沿道景観。 ・九十九里浜にアクセスする道路として、成東鳴浜線、松尾蓮沼線、木戸浜本須賀納屋線、蓮沼公園線の沿道景観。			道路・沿道	・周囲のまちなみと合わないデザインや色彩の建物、屋外広告物が乱立。 ・沿道の木々の手入れ不足、歩道の雑草。 ・道路工作物の景観の観点からの検討。
公園・拠点	・豊かな自然の景観を楽しみながら散策等が出来るさんぶの森公園や蓮沼海浜公園。 ・成東総合運動公園や松尾運動公園、伊藤左千夫記念公園、成東城跡公園等の市民の憩いの空間。 ・海沿いの観光・交流拠点となっている道の駅オライはすぬま。 ・その他、市役所出張所や学校等の公共施設。			公園・拠点	・使用頻度の低い公園がある。
文化財	・社寺、城跡、古墳、史跡等の多くの文化財（浪切不動院、伊藤左千夫の生家、大高善兵衛の墓等）。	歴史	古墳や社寺、史跡など多くの先人たちの足跡を示す歴史的文化財や、寺社の境内地などにある古木など、地域に根差した歴史・文化が多数存在している。	文化財	・文化財を後世に伝える維持管理体制の構築。大切なものであることの啓発。
古木・巨木	・長光寺や妙宣寺、賀茂神社、駒形神社等の社寺や成東高校等にある古木・巨木。			古木・巨木	・古木・巨木の保存に対し、対策が図られていない。
その他の史跡	・文化財指定されているもの以外の、様々な社寺や古墳・史跡（九十九里七福神、箭挿神社、伊藤左千夫の歌碑、魁の碑等）。			その他の史跡	・荒廃した遺跡が存在している。 ・歴史に対する関心・教育不足。 ・埋もれてしまっている史跡の再調査。
まちづくり活動	・地域の活性化に関する活動（成東駅前の賑わい創出、社寺の特別公開、地引網体験交流事業等）。 ・自然景観の保全・育成に関する活動（里山・谷津田の保全・再生活動、山林の整備や間伐材の活用、保安林の再生に向けた植樹活動、まちの緑化・美化活動等）。	活動・人の営み	自然景観の保全・育成に関する活動（里山・山林・植栽等）が活発に行われ、また、長い歴史を越えて受け継がれた里神楽・春や秋の祭礼などが行われている。	まちづくり活動	・各種活動団体の横のつながりの強化。 ・活動参加者の高齢化。 ・活動を行おうとする団体の更なる広がり。
祭り・伝統芸能	・末広神社、金刀比羅神社、大宮神社、稻荷神社等の里神楽（市の無形民俗文化財）。 ・各所の神社で見られる、春や秋の祭礼時の神楽、獅子舞、山車、神輿。			祭り・伝統芸能	・後継者不足により、神楽の伝承が途切れかけた。 ・若者の祭礼への参加意識・文化の伝承をしようという意識が低下している。
イベント	・桜めぐりハイキングやサマーカーニバル、産業まつり等の様々なイベント。			イベント	・観光客による、祭りやイベントでのゴミ捨て。
眺望	・平野部から見ると連続した緑の景観を作り出している斜面林。 ・さんぶの森公園グリーントワーからの眺望、蓮沼海浜公園の展望塔からの眺望、成東城跡公園からの眺望（ちば眺望100景） ・浪切不動院の本堂の高台、松尾中学校等からの市街地や田園風景の眺め。 ・作田川に架かる大橋からの眺め（浪切不動院の本堂）を始め、市内各所の高台や橋からの眺め。	眺望	ちば眺望100景に選定されたさんぶの森公園グリーントワー・蓮沼海浜公園展望塔・成東城跡公園からの眺望や市内各地にある眺望ポイントなど、多岐にわたる自然景観を眺めることができる。	眺望	・色彩の強い建物による眺望景観の阻害。

4. 山武市の景観の目標・基本方針について

第2回策定委員会では、山武市の景観特性・景観課題、山武市総合計画及び山武市都市計画マスタープラン等の上位計画、景観に係る各種取組み、既存文献（データ）を加味しながら、今後山武市が目指す「景観の目標・基本方針」（≒何を目指していくべきか？）を整理・検討することとします。

上位計画の将来像など

山武市総合計画

基本理念：ともに手を携えて誇りを持てるまちづくり
将来都市像：誰もがしあわせを実感できる独立都市さんむ

山武市都市計画マスタープラン

都市の将来像：「ひと」「まち」「価値」をつないで育てる自立都市さんむ
都市づくりの目標：市内の各地域が連携・交流する一体的な都市づくり
 周辺都市との連携と交流により豊かさが高まる都市づくり
 既存社会資本を活用した歩いて暮らせる集約型の都市づくり
 地域固有の自然と文化を活かした市民協働による都市づくり

これまでの主な取組み（H24～H25.9）

景観セミナー・フォーラム

- ◆景観セミナー
守る。創る。つなぐ。～景観
・私たちの暮らしと景観
・地域の宝を磨く
- ◆景観フォーラム
・里山をみんなの癒しの場所に
・さんむの自然の保全、活用を
めざして
・山武杉を使い切る暮らし

景観アンケート

- ◆山武市内の好きな景観
1位：九十九里海岸……17%
2位：田園地帯……14%
3位：公園・緑地……12%
- ◆山武市内の望ましくない景観
1位：手入れ不足の山林・農地、
空き店舗や空家…23%
3位：ゴミで汚れた海岸や河川、
道路等……20%

景観ワイワイ広場

- ◆山武市の「好きな景観」「何とか
したい景観」を考えてみよう！
（第1回）
- ◆歩いて確かめよう！さんむの良
い景観（第2回）
- ◆山武市の「10年後の景観」を考
えよう！（第3回）
- ◆山武市の10年後の景観を実現す
るため（第4回）

第1回策定委員会

- ◆各委員の考える景観
・山武の自然の良さを山武市外に
も広めていけたら良い。 など
- ◆現況及び課題
・自然の景観については、「残す」
という段階ではなく、「再生」
していきべきだと感じる。
・海岸は非常にゴミが多くなかな
か綺麗にならない。 など

各種文献・既存データ

景観の目標・基本方針

山武市全体として、
何を目指していきべきか？

自然

暮らしの場・
まちなみ

歴史

活動・人の営み

眺望